

## 令和8年度の取り組みについて

## 1. 【令和7年度アンケートからの課題】

【保護者】乳幼児期の所持率が上がっているものの、使用率は低い。  
 【関係機関】認知度が上がっているが、活用が少ない。

## 2. 【令和8年度の取り組み予定】

保護者も関係機関も具体的な活用の仕方が分かり、活用場面が増えることを目指して、引き続き「えみふるふあいるの周知」と「活用の促進」に取り組みます。

## (ア) 保護者向けの啓発活動

- 1歳6か月児健診での説明会【継続】
- 3歳児健診での周知【拡充】～就園後の面談、5歳児健診、就学時健診、就学後も活用の機会があることを案内
- 就学時健診の際、保護者に対しファイルの紹介チラシを同封【継続】

## (イ) 認可保育所・幼稚園・認定こども園への啓発活動

- 具体的な活用の仕方を示したチラシを配布【新規】  
 例：面談等での持参の呼びかけ  
 身体測定の結果票、運動会のお知らせなど紙の配布物に、「えみふるふあいるに保管しましょう」の一文を入れる



参考 ポスター（令和3年発行）



参考 えみふるふあいる内のページ

## (ウ) 発達支援事業所への啓発活動

- こども発達事業「もっとつながる発達支援プロジェクト」内の交流会、事業所部会での説明会【拡充】～実際の活用例を紹介  
 例：個別支援計画書を綴じるよう呼びかけ  
 新規契約時の面談での使用（発達検査の結果等サービスにつながった背景の課題を「えみふるふあいる」で確認）

## (エ) 学校への啓発活動

- 特別支援教育推進委員会での説明会【拡充】～実際の活用例を紹介

## (オ) こども家庭センターでの活用

- 各種相談（発達・言語・育児等）で活用【拡充】～言語・発達以外の相談にも活用
- 5歳児健診での活用【新規】

参考 相談記録の例

